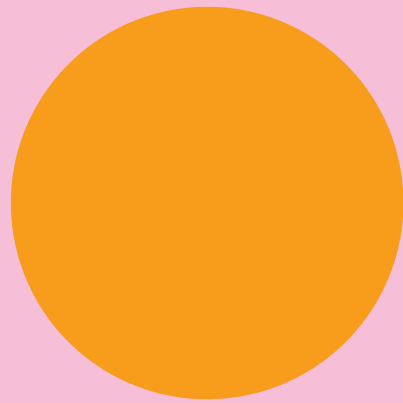


令和2年度（2020年度）  
わかりやすい決算書

---

# 宮若市マナーブック





## ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さまにまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、令和2年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しました。

令和2年度一般会計においては、世界規模で流行している新型コロナウイルス感染症対策として、各種事業を実施したことにより決算規模は拡大しましたが、市税など自主財源の確保、国県補助金や地方債の有効活用などにより、平成18年の合併以降連続で黒字決算となりました。また、株式会社トライアルホールディングスと連携協定を締結し、先端技術等を活用した新たな拠点地域の形成を目指す「リモートワークタウン ムスブ宮若プロジェクト」が始動するなど、本市の発展に寄与する新たな官民連携のまちづくりがスタートしました。

令和2年度に実施した主な事業として、新型コロナの影響を受けた方への支援金の給付や学校・公共施設等の感染防止対策など、市民の皆さまが安心して生活できるよう各種対策を講じるとともに、企業間の共創や産学連携を促し関係人口や交流人口の増加などを図るため、シェアオフィスなどの機能を持ったAI等先端技術開発拠点として、旧吉川小学校の校舎をトライアルグループと連携してリノベーション工事を行いました。また、令和2年5月に開庁を迎えた新庁舎については、引き続き駐車場やプロムナードなどを整備するため、旧庁舎の解体工事を実施するとともに、宮田小と宮田東小を再編する光陵小学校の整備については、令和4年度からの開校に向けて、学校給食共同調理場や学童保育所、子育て支援センターを併設する複合型施設の建設に着手しました。さらに、GIGAスクール構想（学校情報化）を推進するため、児童生徒1人1台タブレット端末の導入や全クラスへの電子黒板の設置など、効果的・効率的に授業を行えるようICT環境の整備を進めました。

宮若市は市制施行16年目を迎え、市のグランドデザインである「第2次宮若市総合計画」に基づいた新たな段階へのまちづくりを進めているところです。急激な少子高齢化や人口減少など大変厳しい時代の変革期を迎えていますが、「地方創生」の実現に向け、一步一步着実に歩みを進めて参ります。また、依然として収束の兆しが見えない新型コロナですが、引き続き感染症予防に万全を期するとともに、情勢の変化に柔軟に対応しながら持続可能なまちづくりに邁進して参りますので、今後とも皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年9月

宮若市長  
有吉 哲信





## はじめに

宮若市では、市民の皆さんと協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆さんに配布しています。

このマネーブックは「第2次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どれくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く ふるさと宮若」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

### まちづくりの基本方針



# もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
上水道の安定供給	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 生活基盤・都市基盤 安全・安心で便利な暮らしを確保する生活基盤・都市基盤づくり	9
計画的な土地利用の促進	
中心拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網・生活環境の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 産業 企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり	11
農林業の振興	
立地企業の支援	
商業の振興	
企業誘致の推進	
観光の振興	
第4章 保健・福祉 市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、安心な暮らしを高める社会づくり	13
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
社会福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 教育・文化 子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実	16
学校教育の充実	
スポーツの推進	
青少年の健全育成	
芸術文化活動の充実	
生涯学習の推進	
文化財の保護・継承	
第6章 市民協働・コミュニティ 市民とともに地域の課題解決に向けて取り組んでいく協働のまちづくり	18
市民参加の推進	
地域コミュニティの形成	
人権尊重社会の構築	
地域情報化の推進	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイヤルガイド	24
宮若市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

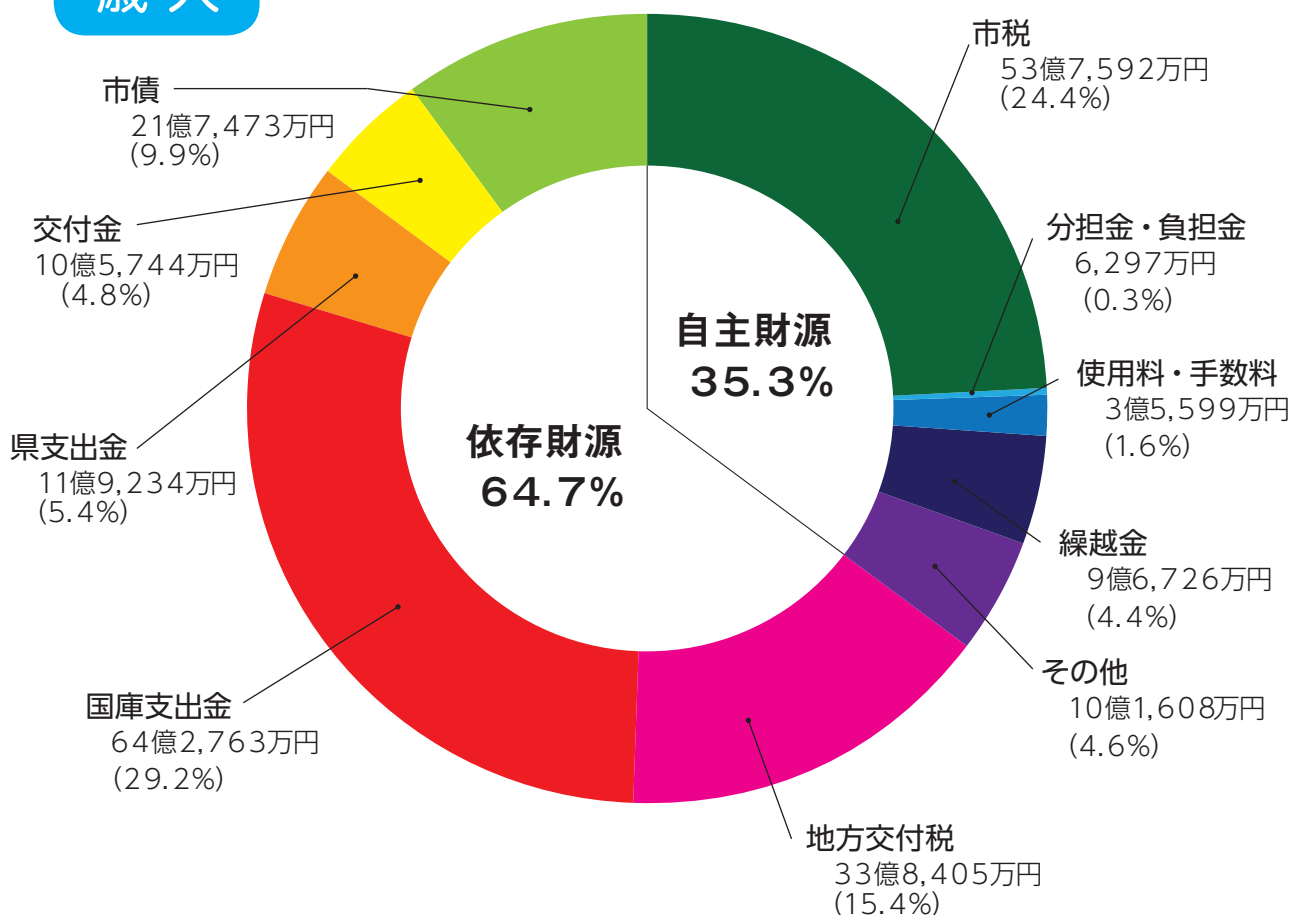
# 令和2年度 宮若市一般会計決算

歳入 220億1,441万円

歳出 208億8,533万円

差引 11億2,908万円

## 歳入



### 自主財源 35.3% (前年度比 - 7.7%)

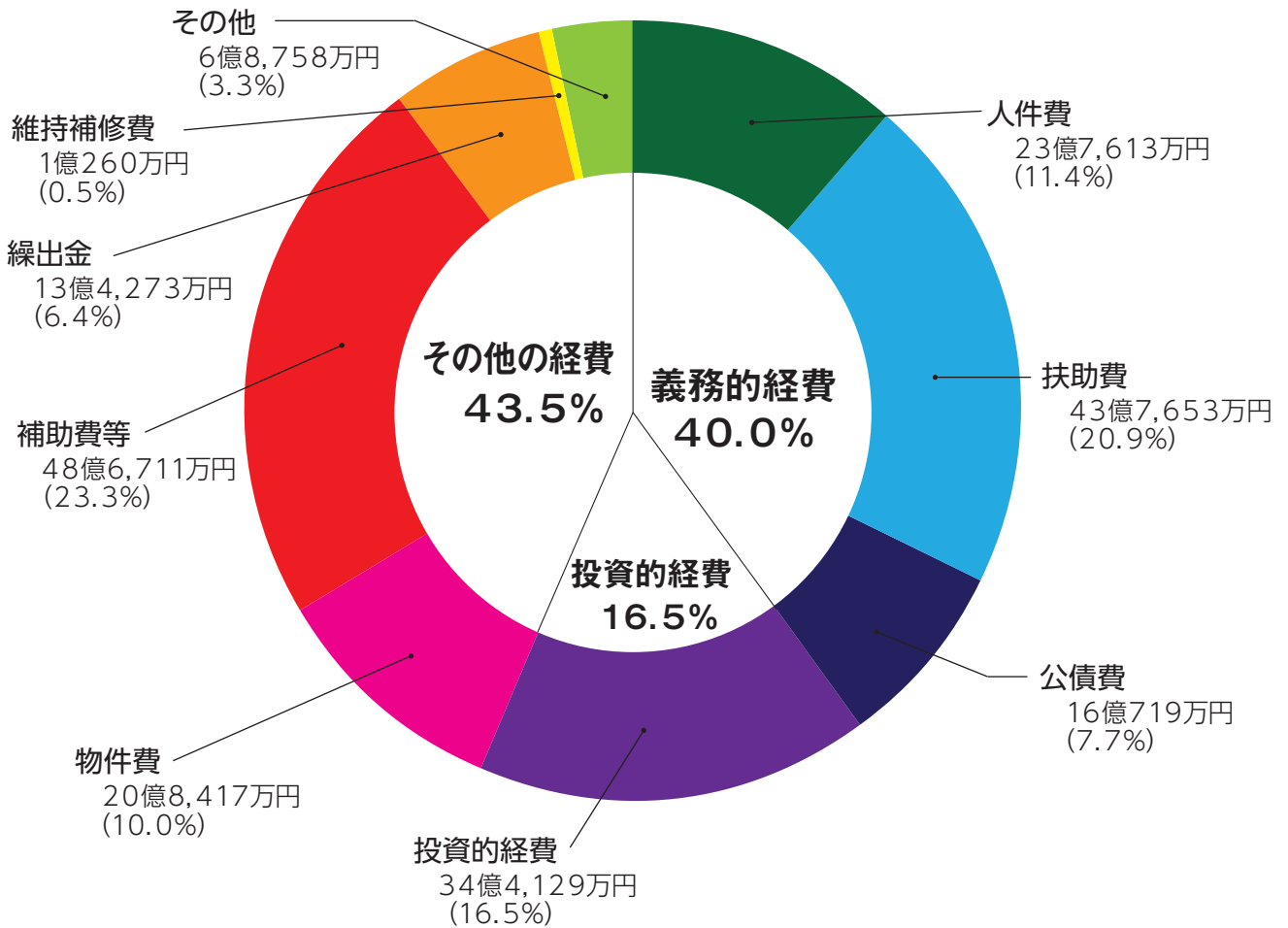
市が自主的に収入できるお金のことです。市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

企業の設備投資が少なかったことによる固定資産税の減収により市税が減少しました。

### 依存財源 64.7% (前年度比 + 7.7%)

国や県から交付されるお金のことです。国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策として、各種事業を実施したことにより、国庫支出金が大きく増加しました。

# 歳出



## 義務的経費 40.0% (前年度比 - 5.3%)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。会計年度任用職員制度の創設により、人件費が増加しました。

## 投資的経費 16.5% (前年度比 - 1.1%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。光陵小学校等の建設に着手したことなどにより増加しましたが、全体に占める割合は減少しています。

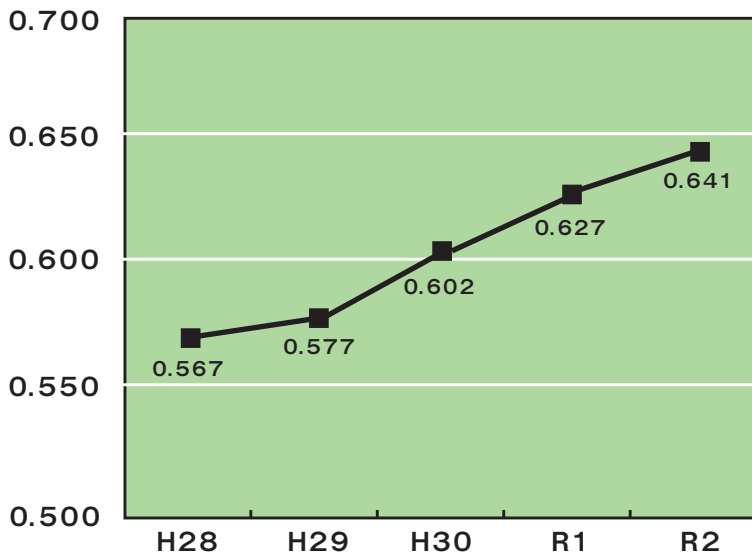
## その他の経費 43.5% (前年度比 + 6.4%)

施設の維持管理や委託料などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。新型コロナウイルス感染症対策として実施した市民1人当たり10万円の特別定額給付金の支給により補助費等が大きく増加しています。

# グラフで見る財政状況

宮若市の財政指標をグラフで見てみましょう。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

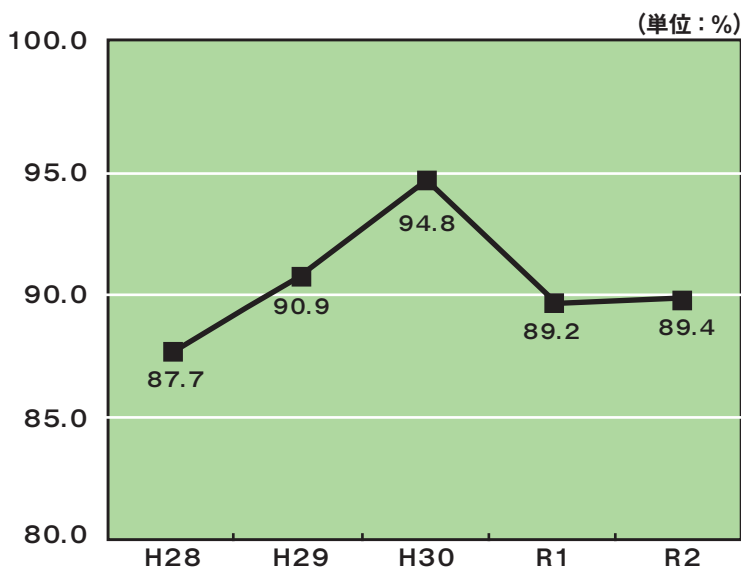
## 財政力指数



財政力指数は財政基盤の強さを表すもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。

法人市民税などが増加したため、高くなりました。

## 経常収支比率

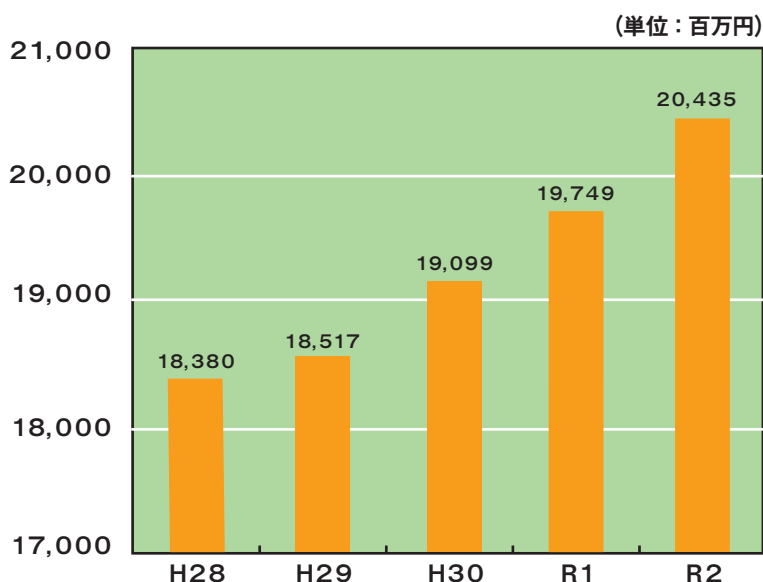


経常収支比率は財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的な経費（人件費・扶助費など）の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。

小中一貫校建設にかかる借入金の返済が増加したため、わずかに高くなりました。

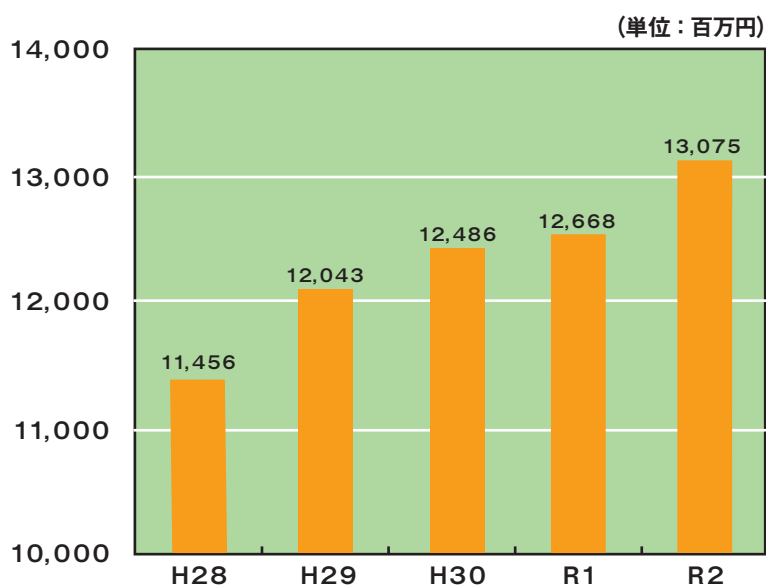


## 市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設等については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。光陵小学校建設のための借り入れを行ったことにより、残高は増加しました。

## 基金残高



基金とは市の貯金のことです。経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

## 第1章

## 自然環境

豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり

## 自然環境と地域景観の保全

## ■ 不法投棄防止対策の推進 (環境保全課)

87 万円

財源 市：87万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板の設置などにより、不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。

## ■ 空家等対策の推進 (建築都市課)

1,083 万円

財源 国：534万円 市：549万円

空家等対策計画に基づき、空家化の予防や適切な管理などの啓発に努めるとともに、老朽化し危険性の高い空家12件の解体撤去費用の補助を行いました。

また、特定空家1件を略式代執行により解体しました。

## 廃棄物処理とリサイクル対策の推進

## ■ ごみの減量化・リサイクル活動の推進

(環境保全課)

1,436万円

財源 その他：458万円 市：978万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、第2・4日曜日に市内2カ所で行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。

また、ごみとして処理されている古紙などを有効活用するため、リサイクル活動登録団体へ奨励金を交付するとともに、ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器やダンボールコンポスト購入者への補助金の交付や、7月からのレジ袋有料化に合わせてオリジナルマイバッグを全世帯に配布しました。



## 上水道の安定供給

## ■ 上水道の安定供給 (水道課)

4,993 万円

財源 その他：1,416万円  
市：3,577万円 (うち市債：1,280万円)

老朽化による配水管の更新や浄水場施設の整備を行いました。

また、岩野線配水管更新工事や、浄水場の機械更新工事などを行いました。



## 下水道等の整備

## ■ 下水道等の整備 (下水道課)

5億3,802 万円

財源 国：1億9,257万円 その他：3,376万円  
市：3億1,169万円 (うち市債：2億3,960万円)

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況に併せて、調査設計である基本・実施設計などを行い、事業認可区域内の幹線管きよの整備や末端管きよの整備促進を図りました。

遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携を図りながら整備を促進しています。

## ■ 合併浄化槽整備事業 (下水道課)

1,540 万円

財源 国：796万円 県：539万円 市：205万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を進めました。

また、単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換を行う方に補助を行うことで、さらなる合併浄化槽の設置促進を図りました。

## 治山・治水・砂防対策の充実

### ■ 森林環境の整備（農政課）

5,758 万円

財源 県：5,654万円 市：104万円

水源のかん養、土砂災害防止など森林の有する公益的機能を高めるため、荒廃森林整備に取り組みました。

また、犬鳴山系関係自治体と連携し、シカの誘引捕獲事業に補助を行うことで、森林被害を防ぐための取組を行いました。



### ■ 砂防対策の充実（土木建設課）

5,193 万円

財源 県：2,500万円  
市：2,693万円（うち市債：2,630万円）

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田地区（金生）と脇田地区の整備を進めました。

### ■ 河川・水路などの環境整備

（土木建設課）

4,867 万円

財源 市：4,867万円（うち市債：4,860万円）

慢性的に冠水している金丸・福丸地区の内水対策を図るため、緊急自然災害防止対策事業債を活用した排水施設の整備を進め、災害の発生予防・拡大防止に努めました。

## 第2章

## 生活基盤・都市基盤

安全・安心で便利な暮らしを確保する  
生活基盤・都市基盤づくり

### 計画的な土地利用の促進

#### ■ 都市計画変更図書作成業務

（建築都市課）

301 万円

財源 市：301万円

土地利用基本方針の検討結果を踏まえ、若宮地区の準都市計画区域について、都市計画区域の拡大を図るため、都市計画変更に向けた各種検討や資料作成を行いました。

#### ■ 国土調査の実施（土地対策課）

7,026 万円

財源 国：2,863万円 県：1,432万円  
市：2,731万円

土地の開発、保全、利用の円滑化を図るため、四郎丸・芹田・長井鶴・山口地区の一部の地籍簿、地籍図の作成と一筆地調査、測量を実施しました。地籍調査完了後は、国の承認を経て法務局の字図と登記簿が修正され、土地取引の円滑化や行政運営の効率化を図ります。

### 中心拠点の整備

#### ■ 中心拠点整備事業（まちづくり推進課）

2億2,154 万円

財源 その他：6,422万円  
市：1億5,732万円（うち市債：1億5,390万円）

中心拠点の整備は令和3年度までの継続事業として進めています。令和2年度は、5月7日に新庁舎が開庁し、その後旧庁舎を解体しました。



## 定住・住宅施策の推進

### ■ 定住促進事業（まちづくり推進課）

1億40万円

財源 国：10万円 市：1億30万円

市内に住宅を購入した方に最長7年間、固定資産税相当額の奨励金を交付する制度、また、市内民間賃貸住宅に居住する新婚・子育て世帯に家賃の一部を最長3年間補助する制度など、定住施策を推進しました。

### ■ 市営住宅の保全管理（建築都市課）

1億1,126万円

財源 国：1,980万円 県：64万円  
その他：9,082万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、安全性確保や長寿命化を図るため、市営向陽団地外壁改修工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられることや、市民の消費を促し地域経済の活性化を図るため、個人住宅や地区公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施するとともに、通学路や避難経路などを対象としたブロック塀等撤去費補助金制度を実施することで、安全・安心な環境整備を行いました。

## 道路・交通網・生活環境の整備

### ■ 生活道路の整備（土木建設課）

2億1,011万円

財源 国：137万円  
市：2億874万円（うち市債：1億1,550万円）

日常生活で利用する生活道路の維持に努めるとともに、経年劣化した道路の舗装整備を行い長寿命化を図りました。

また、社会資本整備総合交付金を活用することで、千田・町線にグリーンベルトを設置し、歩行者の安全通行の確保に努めました。



### ■ 幹線道路の整備（土木建設課）

1億3,266万円

財源 国：4,757万円  
市：8,509万円（うち市債：4,000万円）

幹線道路・交通網の環境整備は、周辺地域と連携して舗装改修や歩道などの整備を計画的に進め、利便性や安全性、アクセスの向上に努めました。

### ■ 市民と協働した道路環境の保全

（土木建設課）

550万円

財源 市：550万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行うことで活動団体の増加に努めました。

### ■ 利便性の高い公共交通手段の確保

（産業観光課）

9,828万円

財源 国：318万円 県：1,109万円  
その他：359万円 市：8,042万円

地域公共交通を維持確保するため、市乗合バス10路線と路線バスへの運行維持費の補助を行いました。

また、生活交通手段の確保に向け、ルートの見直しを引き続き行うとともに、デマンド運行方式の実証事業を開始しました。



## 公園・緑地の整備

### ■ 協働による公園の管理・活用の推進

（まちづくり推進課・土木建設課）

1,626万円

財源 市：1,626万円

犬鳴川河川公園や2000年公園、さくら堤公園は、市民団体などとの協働による管理を行うとともに、多くの人の交流の場としての活用を推進しました。



## 消防・防災・防犯・交通安全の充実

### ■ 消防団の充実 (総務課)

1億4,850 万円

財源 市: 1億4,850万円 (うち市債: 1億4,840万円)

地域防災の要となる消防団については、消防団員の加入促進を図るとともに、消防設備の充実に努めました。

また、消防指揮自動車の購入や消防団拠点施設の整備を行いました。



### ■ 犯罪を防止する環境整備 (総務課)

392 万円

財源 市: 392万円

自治会などによる防犯灯の設置などを支援することで、犯罪を防止する環境整備を進めました。(新規: 42件、取替: 170件)

### ■ 防災意識の醸成と体制の強化 (総務課)

1,901 万円

財源 国: 1,266万円 市: 635万円

防災行政無線などの多様な情報伝達手段を活用して、迅速で的確な情報伝達に努めました。

また、コロナ禍にも対応した避難所運営を行うため、パーテーションなどの防災物品を備蓄しました。

### ■ 交通安全意識の向上 (健康福祉課)

16 万円

財源 その他: 16万円

高齢運転者の安全運転意識の向上や、交通事故の防止、被害の軽減を図るため、安全装置搭載自動車の購入または所有の自動車に安全運転支援装置を設置した方へ補助金の交付を行いました。

## 第3章

## 産業

企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり

### 農林業の振興

#### ■ 小規模農地などへの支援 (土木建設課)

7 万円

財源 市: 7万円

面積が狭小、湧き水による湿田化など、耕作不利農地の条件改善のために農家が実施する対象事業を補助することで、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取組を推進しました。

#### ■ 就農者の育成支援 (農政課)

3,819 万円

財源 県: 3,593万円 市: 226万円

水田・園芸農業の生産コスト低減、生産規模の拡大に取り組む認定農業者・営農組織に、農業用機械などの導入を支援しました。

また、新規就農者の経営確立を支援するとともに、営農技術の向上などに取り組む認定農業者連絡協議会の活動に補助を行いました。

#### ■ 農産物・特産品の販路拡大 (農政課)

120 万円

財源 その他: 120万円

宮若うまい米コンクールを引き続き実施するとともに、オリジナル米袋を活用することで、宮若産米の効果的なPRや販路の拡大に努めました。

また、九州のお米食味コンクールを本市で開催し、宮若米、九州米の知名度向上を図りました。

#### ■ 有害鳥獣被害対策の推進 (農政課)

725 万円

財源 市: 725万円

深刻化する鳥獣害に対応するため、駆除数の増加を図るための補助制度や猟友会をはじめとする関係機関などと連携した駆除活動を強化するとともに、電気牧柵などの設置・補助を行うことで、被害防除に取り組みました。

## ■ 多面的機能支払交付金（農政課）

**3,429 万円**

財源 国：1,719万円 県：855万円 市：855万円

農業や農村は、自然環境の保全や水源のかん養、良好な景観の形成など多面的機能を有していますが、過疎化や高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保管理を推進しました。

### 立地企業の支援

## ■ AI開発センター整備事業

（産業観光課）

**3億2,684 万円**

財源 国：1億7,157万円  
市：1億5,527万円（うち市債：1億2,530万円）

学校跡地利活用の一環として、旧吉川小学校校舎を改修し、本市の知（先端技術）の拠点とするためにAI開発センターの整備を行いました。



### 商業の振興

## ■ 生活利便性の向上（産業観光課）

**3,923 万円**

財源 国：3,856万円 市：67万円

買物利便性の向上のため、車両による移動販売事業に取り組みました。

また、宮若商工会議所・若宮商工会が実施するプレミアム付振興券発行事業を支援しました。

## ■ 特産品の開発・販路開拓の推進

（産業観光課）

**300 万円**

財源 市：300万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者などで組織する宮若じまん振興会の支援を通じて、販路拡大や普及促進を図りました。

## ■ 新規創業に対する支援（産業観光課）

**84 万円**

財源 市：84万円

地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、事業所の開設に係る資金の一部や融資に係る子の一部を補助することで、創業を促進しました。

### 企業誘致の推進

## ■ 企業誘致の推進（まちづくり推進課）

**9,424 万円**

財源 市：9,424万円

自動車関連企業など複数の企業が進出し、市内の工場用地が不足していることから、工場用地バンクの充実に努めるとともに、福岡県と連携して宮若北部工業用地造成事業に着手しました。また、引き続き、各種優遇制度を活用して、企業誘致の推進を図ります。

### 観光の振興

## ■ 資源を活かした着地型観光の推進

（産業観光課）

**358 万円**

財源 その他：358万円

市のイメージアップを図るため、特産品かつイメージキャラクターでもある追い出し猫を観光物産展などのイベントで活用し、特産品や観光資源のPRを行いました。

また、Webサイト宮若なびや観光パンフレットなどにより市の情報発信を行いました。

## ■ 直方・鞍手広域連携プロジェクト

（秘書政策課）

**62 万円**

財源 市：62万円

直方・鞍手地域の広域連携による一体的な地域振興を図るため、福岡県と直鞍2市2町で取り組んでいるプロジェクトで、体験交流型プログラムの開催などを通して同圏域の魅力を発信しました。



## 第4章 保健・福祉

市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、  
安心な暮らしを高める社会づくり

### 児童・母子福祉の充実

#### ■ 一時預かり事業の拡充 (子育て福祉課)

6,990 万円

財源 国：1,111万円 県：935万円  
その他：231万円 市：4,713万円

就労形態や疾病などにより、一時的に家庭での保育が困難となる保護者のために、子育て支援センターさくらんぼ(旧第3保育所)・たけんこ(若宮幼稚園内)で一時預かり保育を行いました。令和2年度からは、待機児童を解消する取組として、子育て支援センターさくらんぼで、保育の必要性が高い児童に向けた固定枠による一時預かり事業を実施しました。

#### ■ 待機児童解消に向けた取組

(子育て福祉課)

1,543 万円

財源 県：553万円 その他：537万円  
市：453万円

民間保育所の保育士不足の解消を目指し、保育士への家賃補助制度や就労支援金制度により、保育士の確保を支援するとともに、保育士の負担軽減のための保育補助者の雇用に必要な経費の一部を補助しました。

また、認可保育所以外の保育施設の利用を促進するため、利用料の一部を補助するなど、増大する保育需要への対応を行いました。

#### ■ 学童保育所の運営 (子育て福祉課)

8,391 万円

財源 国：2,657万円 県：2,532万円  
市：3,202万円

小学校区に合わせて市内5カ所(9クラブ体制)の学童保育所を運営し、小学生がいる子育て世帯の子育て・就労支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校休業中の開所時間の延長や、感染症対策の備品などの購入を行いました。

#### ■ 保育サービスの充実 (子育て福祉課)

6億8,087 万円

財源 国：3億3,258万円 県：1億4,354万円  
その他：3,393万円 市：1億7,082万円

保育所や認定こども園における通常・延長保育などの保育サービスを実施するとともに、幼稚園における預かり保育の利用などに支援を行いました。

また、保育所や認定こども園に対し、特別支援保育のための加配職員の雇用や、英語教育のための経費に補助を行うことで、より保育の質が高められるよう市独自の支援を行いました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策や防犯対策に対する経費について補助を行いました。



#### ■ 子育て世帯への給付金の支給

(子育て福祉課)

1億4,837 万円

財源 国：1億4,780万円 市：57万円

新型コロナウイルス感染症やその蔓延防止措置の影響に鑑み、子育て世帯への支援の観点から特別定額給付金の基準日以降に子どもが生まれた世帯や児童手当受給世帯、ひとり親世帯に給付金を支給しました。

#### ■ 学童保育所・子育て支援センターの整備 (子育て福祉課)

1億492 万円

財源 国：1,468万円 県：1,126万円  
市：7,898万円(うち市債：7,490万円)

旧若宮小学校の校舎を利用する宮若西学童保育所について、施設の老朽化対策として建替工事に着手しました。

また、現在、若宮幼稚園内にある子育て支援センターたけんこについても、一時預かり事業の充実のため、学童保育所に併設する形で整備を進めています。



## ■ 不妊治療への支援 (健康福祉課)

224 万円

財源 その他：224万円

子どもができない悩みを抱えている夫婦が、子どもをもてるような環境をつくるため、不妊治療に要する治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図りました。



## ■ 産後ケアの推進 (健康福祉課)

14 万円

財源 国：7万円 市：7万円

生後12ヶ月までの乳児とその母親を対象に、助産所などで心身のケアや育児支援などを行うことで、安心して育児ができる環境づくりに努めました。

## 高齢者福祉の充実

### ■ 介護予防活動の推進 (健康福祉課)

3,938 万円

財源 その他：2,702万円 市：1,236万円

介護予防教室や居場所づくりなどの介護予防事業を通して、要介護状態などへの予防または、要介護状態などの軽減・悪化防止に努め、住み慣れた地域でいつまでも健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう支援しました。

### ■ 地域包括ケア体制の確立

(健康福祉課)

5,942 万円

財源 その他：5,933万円 市：9万円

団塊の世代が75歳以上となる2025(令和7)年を目処に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの充実を図るため、生活支援サービスの体制整備や在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議の推進などに取り組みました。

## 障がい者福祉の充実

### ■ 障がい者福祉サービスの提供

(子育て福祉課)

11億345 万円

財源 国：5億4,477万円 県：2億7,118万円  
その他：211万円 市：2億8,539万円

障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう、児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービスや更生医療、育成医療および補装具費の給付など、障がい福祉サービスの提供を行いました。

また、第6期障がい福祉計画や第2期障がい児福祉計画を策定し、計画的に事業を推進しました。

### ■ チャレンジ雇用の実施 (総務課)

187 万円

財源 市：187万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会としてチャレンジ雇用を実施しました。

## 社会福祉の充実

### ■ 就労支援体制の充実 (保護人権課)

319 万円

財源 国：239万円 市：80万円

就労支援員を配置することで、就労可能な被保護者へ就労指導・助言を行うとともに、ハローワークと連携を図りながら経済的・社会的自立を促進しました。

### ■ 社会福祉協議会の活動支援

(子育て福祉課)

5,723 万円

財源 市：5,723万円

社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者(児)支援事業など、福祉事業活動について支援しました。



## ■ 民生委員・児童委員の活動支援

(子育て福祉課)

**237 万円**

財源 市：237万円

市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動について支援しました。

## 健康づくりの推進

### ■ 総合健診の実施 (健康福祉課)

**1,498 万円**

財源 国：34万円 県：44万円 市：1,420万円

生活習慣病の早期発見のため、健診の必要性について周知を行い、総合健診の受診率向上を図りました。

＜実施内容＞

- ・健康診断
- ・歯科健診
- ・骨粗鬆症検診
- ・肝炎ウイルス検査
- ・がん検診

(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん)

### ■ みやわか健康ポイント事業

(健康福祉課)

**150 万円**

財源 市：150万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業に参加することでポイントを獲得し、ポイント数に応じて応募者全員に記念品の贈呈を行いました。



### ■ 予防接種の実施 (健康福祉課)

**7,493 万円**

財源 国：92万円 県：35万円 市：7,366万円

感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種、高齢者肺炎球菌・風しん・麻しんの任意予防接種の助成を行いました。



## ■ 新型コロナウイルス感染症対策

(総務課・秘書政策課・子育て福祉課・健康福祉課  
保護人権課・産業観光課・建築都市課・学校教育課)

**1億3,359 万円**

財源 国：1億3,097万円 県：127万円  
市：135万円

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、保健センターで実施している保健事業を安全に行うため、消毒液や防護服、サーモグラフィカメラなどを購入するとともに、市内の交通事業者や宿泊施設が実施した予防対策にかかった費用へ補助を行いました。

また、感染症拡大の影響により売上が減少した市内事業者への支援として、支援金を給付するとともに、経済団体が実施した各種事業へ補助を行いました。

さらには、子ども達が安心して学校生活を送れるよう、コロナ禍の学校生活を支援するスクールサポートスタッフの配置を行うとともに、市内幼稚園や小中学校の給食費を減免することで保護者の経済的負担の軽減を図りました。

その他にも状況に合った対策を行うことで、市民の皆さまが安心して過ごせるよう努めました。

## 医療の充実

### ■ 特定健診・特定保健指導

(市民課・健康福祉課)

**1,987 万円**

財源 県：1,131万円 市：856万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康診査であり、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。健診を受けていない人を対象に受診勧奨を行うとともに、健診を受診し、結果説明を受けた人を対象に宮若市に関連した商品を配布するなど、さらなる受診率の向上を図りました。

また、受診の結果、生活習慣病の予備群や要受診者となる人を対象に、保健師や管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化の防止に努めました。



## ■ 医療費適正化対策（市民課）

6 万円

財源 市：6万円

国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用による医療費減額通知の送付を通じて、

先発医薬品と同等であるジェネリック医薬品の使用を促進することで、医療費の適正化を図りました。



## 第5章 教育・文化

子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、  
多彩な市民交流を生む社会教育の充実

### 学校教育の充実

#### ■ 確かな学力の育成（学校教育課）

2,421 万円

財源 県：157万円 市：2,264万円

幼稚園・小中学校が同じ目標に向かって共通の取組を推進しながら、子どもたちの生活習慣、学校教育の基盤づくりや学力向上を目指すため、学力向上プロジェクトE事業を中心に様々な事業を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、放課後学習「みやわかアフター・スクール」を全小中学校で実施し、子どもたちの学習支援を行いました。

また、教員の資質向上のための研修会「みやわか教師塾」については規模を縮小して実施しました。

#### ■ 特別支援教育の充実（学校教育課）

1,926 万円

財源 市：1,926万円

市内小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒や通常学級に在籍している発達障がいがある児童生徒など、特別な支援が必要な子どもたちに適切な教育的支援を行うために、特別支援教育支援員の配置を行うなど、特別支援学級等の教育活動の充実を図りました。

また、特別に支援を必要とする児童生徒の就学などについては、発達障がい相談支援カウンセラーによる助言や関係機関との情報交換を行い、円滑に連携していくことで、当該児童生徒にとって適切な教育支援を行いました。

#### ■ 教育施設の適正配置（教育総務課） （学校再編事業）

11億4,436 万円

財源 国：2億5,040万円

市：8億9,396万円（うち市債：7億9,750万円）

宮田東小学校と宮田小学校を再編する小学校の令和4年4月の開校に向け、学校給食共同調理場や学童保育所、子育て支援センターを併設した学校施設を宮田光陵中学校跡地に整備するため、建設工事に着手しました。

また、保護者の代表や教職員で組織する再編準備委員会では、再編後の学校の校名の選定、通学路の安全点検などを行いました。



#### ■ 小中一貫教育の推進（学校教育課）

2,542 万円

財源 県：30万円 市：2,512万円

新型コロナウイルス感染防止のため、小中学校9年間を見通した教育課程の編成や小中合同研修の実施など、小中一貫教育の取組は規模を縮小して実施しました。

また、グローバル化に対応するための少年の主張大会・英語部門は中止しました。

さらに、平成30年度より福岡県の研究指定を受けて小中連携による外国語教育を進め、最終年度の成果発表を行いました。

## 情報教育の推進（学校教育課）

2億5,347万円

財源 国：1億4,551万円 市：1億796万円

国のGIGAスクール構想に伴い、児童生徒1人1台端末整備、校内無線LAN整備を行いました。

また、学校ICTシステムの構築や教師のICT活用指導力向上を図るため、GIGAスクールサポーターやICT支援員を配置しました。

さらに、学校運営の円滑化を図るため、各学校の校務用パソコンの入替整備を行いました。

## スポーツの推進

### スポーツ大会・キャンプ地の誘致

（社会教育課）

9万円

財源 市：9万円

光陵グリーンパークや西鞍の丘総合運動公園と、宿泊施設との連携を図ることで、広域的なスポーツ大会やキャンプ地の誘致に取り組みました。

## 青少年の健全育成

### 体験学習の充実（社会教育課）

2万円

財源 市：2万円

小学生が様々な活動を体験することで、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性など、生きる力を育むことを目的として、毎年、わいわいサークルやサマーチャレンジ、スプリングチャレンジを開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スプリングチャレンジのみを開催しました。

## 芸術文化活動の充実

### 芸術文化活動の推進（社会教育課）

29万円

財源 市：29万円

市民文化祭やコンサートなどを開催し、市民が芸術文化に触れる機会の提供に努め、芸術文化活動の活性化を図りました。

## 生涯学習の推進

### 読書活動の充実（社会教育課）

1,661万円

財源 県：8万円 その他：150万円  
市：1,503万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、おはなし会は開催できませんでしたが、ふるさと納税を活用して児童書を増やし、幼少期の子どもの読書活動の推進を図りました。

また、市内2カ所の図書館に図書消毒器を配置することで、市民が安心して利用できるよう感染症対策に努めました。

### 生涯学習活動の支援（社会教育課）

2,061万円

財源 国：904万円  
市：1,157万円（うち市債：1,040万円）

宮田文化センターとマリーホール宮田においては、トイレの洋式化などの工事に取り組みました。

また、山口コミュニティセンターにおいては、トイレの洋式化工事やバリアフリー化工事、空調新設工事に取り組みむとともに、若宮分館においては、空調設備工事を実施することで、多くの人々が利用しやすい施設の整備を行いました。

## 文化財の保護・継承

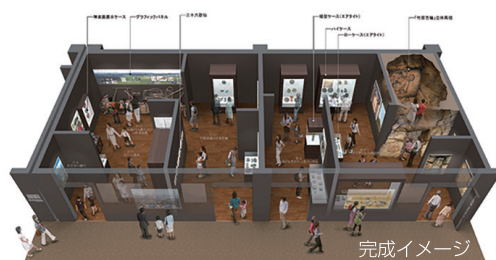
### 文化財の整備・保存の推進

（社会教育課）

1,042万円

財源 市：1,042万円（うち市債：380万円）

国指定史跡である竹原古墳の保存整備工事が完成したことを記念して、シンポジウムを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。また、文化財収蔵・展示施設と地域の活動拠点機能を併せ持つ施設の整備に向けて設計業務に取り組みました。





## 第6章

# 市民協働・コミュニティ

市民とともに地域の課題解決に向けて  
取り組んでいく協働のまちづくり

### 市民参加の推進

#### ■ 広報・広聴の充実 (秘書政策課)

1,763 万円

財源 県:55万円 その他:121万円  
市:1,587万円

市の魅力を市内外へ広く発信し、認知度を高めていくため、主要施策や地域情報について、広報紙や公式ホームページ、公式インスタグラムをはじめとしたSNSなど様々な媒体を活用した多角的で効果的な情報発信を行いました。

また、最新の行政情報などをわかりやすく伝えるために、暮らしの便利帳を改訂して全戸配布を行いました。



#### ■ 新国富指標調査分析事業 (秘書政策課)

140 万円

財源 その他:140万円

九州大学都市研究センターで研究されている「新国富指標」(長期的に持続可能な発展を計測するために開発された経済指標)を活用し、本市公共交通におけるデマンド型交通の実装効果などについて、調査・分析を行いました。

#### ■ 市民参加機会の確保 (秘書政策課)

144 万円

財源 市:144万円

公募による10名の市民で構成する第6期まちづくり委員会では、商品のブランディングやマーケティングの方法について学びながら、市民目線での特産品の開発に向けた取組を行いました。



### 地域コミュニティの形成

#### ■ コミュニティ活動の活性化

(まちづくり推進課)

60 万円

財源 市:60万円

職員の地域担当制度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、市内2ブロックで地域と職員が協働して事業を実施しました。

### 人権尊重社会の構築

#### ■ 人権教育・啓発の促進

(保護人権課・社会教育課)

9 万円

財源 市:9万円

身近な生活の中にある差別に気づき、お互いの人権が尊重される地域づくりを推進するため、人権講演会や地域懇談会などを開催する予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による医療従事者や感染者などへの偏見やSNSでの誹謗中傷などを防止するため、広報紙で特集を組むなど、新たな差別に関する啓発に取り組みました。

さらに、令和3年度に改定する宮若市人権教育・啓発基本計画の策定に向けた市民アンケートを実施し、報告書を作成しました。

### 地域情報化の推進

#### ■ 高度無線環境整備推進事業 (総務課)

9,868 万円

財源 市:9,868万円 (うち市債:9,420万円)

通信事業者と協力し、旧吉川小学校区に光ファイバー回線を利用した高速インターネットサービスエリアの拡大を行うことで、情報格差の是正を図りました。

## ■ 地域情報化の推進 (総務課)

1,673 万円

財源 市：1,673万円

新庁舎において新たな窓口サービスを提供するため、業務フローの見直しにより業務改善を図り、効率的な窓口サービスの実施を支援するシステムを構築しました。

また、新たなICT (AI、RPAなど) を業務支援や問合せ対応、定型業務の自動化などに活用し、業務の効率化を推進しました。



## 第7章

## 計画の推進と実現のために

### ■ 輝くふるさと応援寄附金 (財政課)

6,854 万円

財源 その他：5,151万円 市：1,703万円

新規取扱事業者や返礼品の拡充を図るとともに、寄附サイトの掲載内容を充実させ、さらなる寄附の拡大に取り組むことで、1億5,169万円の寄附につながりました。



### ■ 適正な債権管理の推進 (税務収納課)

60 万円

財源 市：60万円

債権管理条例に基づき、市税をはじめとした市全体の債権について統一的な基準を定めるため、債権管理マニュアルを作成しました。

### ■ 地番現況図などの更新 (税務収納課)

1,324 万円

財源 市：1,324万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、地番現況図や公図の通年異動更新を行い、令和3年度評価替えに向けて土地評価見直し業務を行いました。

### ■ 固定資産 (土地) 評価修正に伴う標準宅地時点修正業務

(税務収納課)

247 万円

財源 市：247万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を鑑定評価により求めることで、市内全域の宅地などの価格修正や令和3年度固定資産税評価替えにおける土地の適正な時価を求める不動産鑑定評価業務を行いました。

### ■ 収納率の向上及び滞納対策の強化

(税務収納課)

66 万円

財源 市：66万円

収納率の向上のため、ファイナンシャルプランナーによる家計改善指導に取り組むことで、収納率の向上を図りました。



## 資料 決算概要

### 一般会計

歳入総額	220億1,441万円
歳出総額	208億8,533万円
差引残額	11億2,908万円

#### 歳入

款	決算額
1 市税	53億7,592万円
2 地方譲与税	1億7,203万円
3 利子割交付金	176万円
4 配当割交付金	886万円
5 株式等譲渡所得割交付金	1,155万円
6 法人事業税交付金	7,877万円
7 地方消費税交付金	6億7,947万円
8 ゴルフ場利用税交付金	4,551万円
9 環境性能割交付金	2,031万円
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	149万円
11 地方特例交付金	3,215万円
12 地方交付税	33億8,405万円
13 交通安全対策特別交付金	554万円
14 分担金及び負担金	6,297万円
15 使用料及び手数料	3億5,599万円
16 国庫支出金	64億2,763万円
17 県支出金	11億9,234万円
18 財産収入	2億8,148万円
19 寄附金	1億7,271万円
20 繰入金	2億6,029万円
21 繰越金	9億6,726万円
22 諸収入	3億160万円
23 市債	21億7,473万円

#### 歳出

##### 目的別

款	決算額
1 議会費	1億5,761万円
2 総務費	52億5,080万円
3 民生費	66億4,114万円
4 衛生費	10億6,565万円
6 農林水産業費	6億2,583万円
7 商工費	7億3,773万円
8 土木費	13億7,629万円
9 消防費	6億8,757万円
10 教育費	27億151万円
11 災害復旧費	3,401万円
12 公債費	16億719万円

##### 性質別

区分	決算額
人件費	23億7,613万円
扶助費	43億7,653万円
公債費	16億719万円
物件費	20億8,417万円
維持補修費	1億260万円
補助費等	48億6,711万円
繰出金	13億4,273万円
積立金	6億6,758万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	34億4,129万円

## 国民健康保険特別会計

歳入総額	31億6,021万円
歳出総額	33億8,759万円
差引残額	△2億2,738万円

### 歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億4,324万円
2 使用料及び手数料	54万円
5 国庫支出金	441万円
6 県支出金	23億1,645万円
10 繰入金	2億8,126万円
12 諸収入	1,431万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	5,540万円
2 保険給付費	21億8,463万円
3 国民健康保険事業費納付金	7億9,939万円
4 共同事業拠出金	1万円
6 保健事業費	1,945万円
9 諸支出金	5,153万円
11 繰上充用金	2億7,718万円

## 後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億4,785万円
歳出総額	4億3,952万円
差引残額	833万円

### 歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	3億568万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,436万円
4 繰越金	776万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	263万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億3,607万円
3 諸支出金	40万円
4 保健事業費	42万円

## 吉川財産区特別会計

歳入総額	102万円
歳出総額	91万円
差引残額	11万円

### 歳入

款	決算額
1 財産収入	4万円
3 繰越金	92万円
4 諸収入	6万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	61万円
2 財産費	30万円

## 水道事業会計

### (1) 収益的収入及び支出

収入		5億1,526万円
区分	決算額	
給水収益	4億2,681万円	
受託工事収益	506万円	
その他の営業収益	26万円	
負担金	1,580万円	
他会計補助金	22万円	
水道加入金	381万円	
長期前受金戻入	6,290万円	
雑収益	34万円	
特別利益	6万円	

支出		4億5,075万円
区分	決算額	
原水及び浄水費	9,258万円	
配水及び給水費	7,377万円	
受託工事費	460万円	
総係費	3,883万円	
減価償却費	1億9,026万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	2,705万円	
消費税及び地方消費税	2,365万円	
特別損失	1万円	

### (2) 資本的収入及び支出

収入		2,696万円
区分	決算額	
企業債	1,280万円	
負担金	1,416万円	

支出		1億7,579万円
区分	決算額	
建設改良費	5,080万円	
固定資産購入費	1,521万円	
企業債償還金	1億978万円	

## 簡易水道事業会計

### (1) 収益的収入及び支出

収入		1億967万円
款	決算額	
給水収益	4,755万円	
受託工事収益	166万円	
その他の営業収益	10万円	
負担金	643万円	
他会計補助金	1,528万円	
水道加入金	684万円	
長期前受金戻入	3,181万円	

支出		1億496万円
款	決算額	
原水及び浄水費	1,334万円	
配水及び給水費	177万円	
受託工事費	166万円	
総係費	2,522万円	
減価償却費	5,146万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	800万円	
消費税及び地方消費税	148万円	
特別損失	203万円	



## (2) 資本的収入及び支出

収入		1億654万円
款	決算額	
他会計補助金	3,697万円	
負担金	6,957万円	

支出		1億1,778万円
款	決算額	
建設改良費	7,260万円	
企業債償還金	4,518万円	

## 下水道事業会計

### (1) 収益的収入及び支出

収入		3億8,261万円
区分	決算額	
下水道使用料	5,163万円	
雨水処理負担金	454万円	
その他の営業収益	22万円	
他会計負担金	1億3,207万円	
他会計補助金	6,444万円	
長期前受金戻入	1億437万円	
消費税還付金	1,312万円	
特別利益	1,222万円	

支出		3億5,949万円
区分	決算額	
管渠費	137万円	
ポンプ場費	409万円	
業務費	83万円	
総係費	3,805万円	
流域下水道維持管理負担金	7,750万円	
減価償却費	1億9,070万円	
支払利息及び企業債取扱諸費	4,462万円	
特別損失	233万円	

### (2) 資本的収入及び支出

収入		6億2,253万円
区分	決算額	
企業債	2億3,960万円	
国庫補助金	1億9,257万円	
負担金及び分担金	3,376万円	
他会計負担金	2,674万円	
他会計補助金	1億2,986万円	

支出		6億6,032万円
区分	決算額	
建設改良費	5億3,802万円	
企業債償還金	1億2,230万円	

# 宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	32-1072
情報政策係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策、ICTの利活用など		
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市民課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	32-1008
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	
秘書政策課	秘書広報係	市長・副市長秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財政課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債など	32-0590
	財務経営係	行財政改革、ふるさと納税、行政基本資料の収集など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園、企業誘致など	32-0773
	拠点整備推進係	中心拠点整備の促進など	
子育て福祉課	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画など	32-0562
	子育て支援係	児童・母子福祉、児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談、学童保育など	32-0517
	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0541
健康福祉課	健康対策係	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	32-1177
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄、太陽光発電等設置助成など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石、観光資源の保全・活用など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	県道整備対策係	県道の整備に関することなど	32-0566
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	
建築都市課	建築都市係	都市計画、建築協定、緑化対策、市営住宅の維持管理、空き家対策など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
教育総務課	教育総務係	小学校・幼稚園の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校再編推進係	小学校再編、学校給食施設の整備など	
学校教育課	学校教育係	児童就学、奨学金、通学区域、学級編成、教育支援センターなど	32-0715
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興など	32-3210
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民窓口課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

## 宮若市民憲章

## 宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

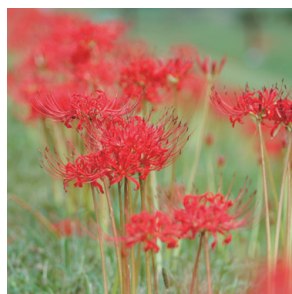
共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。



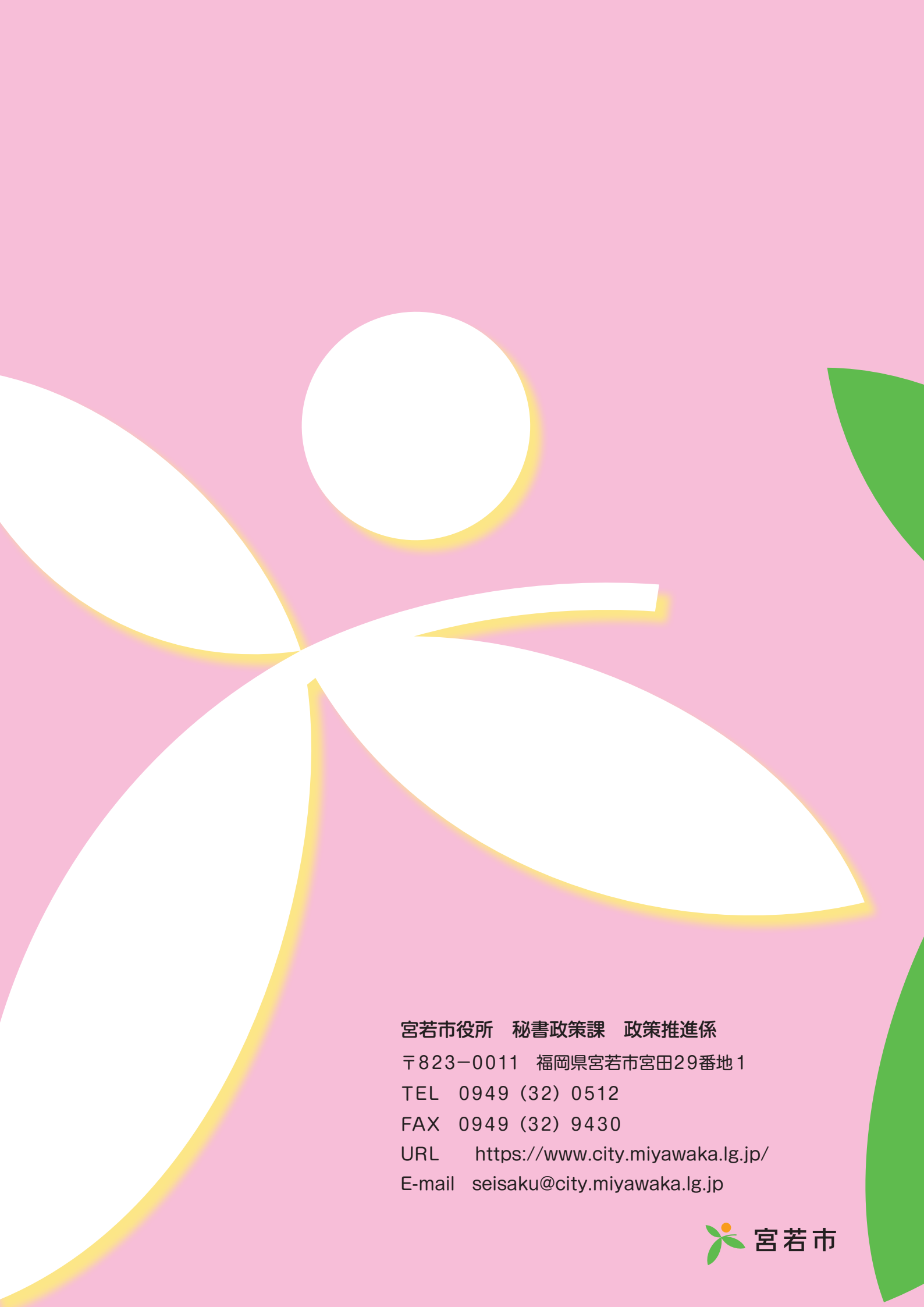
市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。



宮若市役所 秘書政策課 政策推進係

〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1

TEL 0949 (32) 0512

FAX 0949 (32) 9430

URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>

E-mail [seisaku@city.miyawaka.lg.jp](mailto:seisaku@city.miyawaka.lg.jp)